

京都市立京北病院 沿革

昭和	16年	2月	旧弓削村国保健康保険組合設立	11年	2月	療養型病床群整備工事着手
	24年	10月	弓削村国保診療所として発足		4月	同工事完成（21床）
	26年	4月	宇津診療所開設		5月	薬剤情報提供料加算
	30年	3月	町村合併により京北町発足		9月	事務室拡張工事完成
		5月	京北町国保弓削診療所となる			（訪問看護ステーションを設置）
		5月	黒田診療所開設	10月		療養型病床群開設（入院基本料6 6：1看護・5：1看護補助）
	32年	12月	診療棟、病棟新築工事完成（18床）			細野診療所開設
	33年	4月	京北町国保弓削診療所廃止			夜間勤務等看護加算辞退
		5月	国民健康保険京北病院に昇格、病院事業開始			院内感染防止対策施設基準取得（2階病棟）
			診療科：内科・外科・産婦人科・歯科・放射線科	12年	4月	療養型病床群介護型12床・医療型9床稼働
	43年	4月	国保京北病院事業に地方公営企業法の一部適用	13年	1月	山国診療所開設
		6月	短期人間ドック開始		3月	外来待合表示システム設置
		12月	病棟改築工事完成（18床）第一期分	14年	8月	療養型病床群入院基本料2（5：1看護・5：1看護補助）
	45年	2月	病棟新築工事完成（19床）第二期分	15年	3月	整形外科診察室増築工事完成
	48年	1月	病棟増築工事（10床）47床となる		9月	全身用コンピュータ断層撮影装置（CT）更新
	50年	7月	小児科診療開始	17年	4月	京都市へ編入合併により「京都市立京北病院」となる。
	51年	4月	産婦人科を廃止し、婦人科診療開始	18年	4月	一般病床入院基本料（10：1入院基本料）
	52年	3月	病棟増築工事完成（20床）67床となる		7月	療養病床特別入院基本料
		8月	基準看護I類許可	20年	2月	療養病床入院基本料2
	56年	4月	整形外科・泌尿器科診療開始		6月	一般病床5床を医療療養病床に変更
		5月	診療棟全面改築工事完成			一般病床41床、療養病床26床となる
		10月	附属山国診療所廃止		8月	院外処方の実施
	57年	5月	基準看護特I類許可	21年	2月	オーダーリングシステム導入
	59年	3月	救急告示病院指定		5月	外来予約診療の実施
	62年	1月	全身用コンピュータ断層撮影装置（CT）導入	22年	3月	亜急性期入院医療管理棟（6床）
平成	6年	3月	病棟、厨房全面改築工事完成	23年	1月	一般病床3床を医療療養病床に変更
		10月	診療棟改築工事完成			一般病床38床、療養病床29床となる
	7年	4月	眼科診療開始		2月	病棟空調設備更新
		8月	新看護基準実施（3：1看護、看護A加算・10：1看護補助）		3月	給湯及び診療棟暖房用ペレットボイラー導入、ナースコール更新
	8年	6月	新看護基準実施（2.5：1看護、看護A加算・10：1看護補助）			介護老人保健施設への転換改修工事完成
			夜間勤務等看護加算取得	4月		京都市から地方独立行政法人京都市立病院機構へ移行
	10年	3月	看護婦宿舍工事完成			療養病床29床を介護老人保健施設（療養型）に転換し、「京都市京北介護老人保健施設はなふるさと」として開設
		10月	院内感染防止対策施設基準実施			婦人科廃止